

2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 敏夫

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 2020年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	6,843	16.9	154		160		181	
2020年5月期第1四半期	8,232	1.1	182	8.4	185	14.2	124	30.0

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 177百万円 (%) 2020年5月期第1四半期 128百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	26.96	
2020年5月期第1四半期	12.07	12.07

(注) 2021年5月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	25,702	7,603	29.5
2020年5月期	24,398	7,901	32.3

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 7,585百万円 2020年5月期 7,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		0.00	0.00
2021年5月期					
2021年5月期(予想)					

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
 2. 現時点において2021年5月期の配当金は未定であります。
 3. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年5月期1Q	7,861,700 株	2020年5月期	7,861,700 株
2021年5月期1Q	4,001 株	2020年5月期	4,001 株
2021年5月期1Q	7,857,699 株	2020年5月期1Q	7,830,765 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	—	—	80,000.00	80,000.00
2021年5月期	—				
2021年5月期（予想）		—	—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年6月1日~2020年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界的に経済活動は停滞し、国内でも企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退やインバウンド需要の急減などにより極めて厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、同感染症の拡大に伴う、政府による緊急事態宣言の解除後も経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはお客様と従業員の安全を最優先に考え、消毒・清掃の強化、身体的距離の確保、従業員の検温等のあらゆる対策をし店舗運営を行ってまいりました。さらには、ライブ配信やオンラインでのコラボグッズ販売など、自宅にいても楽しめる新しいヴィレッジヴァンガードの形を模索し事業活動を行ってまいりました。

店舗数につきましては、直営店3店を新規出店し、直営店3店を閉鎖したことにより、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店336店、FC店5店の合計341店となりました。

このような事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、6,843百万円と前年同四半期と比べ1,388百万円の減収(16.9%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んだものの、売上高の減少が影響し2,472百万円と前年同四半期と比べ629百万円減益(20.3%減)となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んだものの売上高の減少が影響し、営業損失は154百万円と前年同四半期と比べ337百万円減益となりました。経常損失につきましても、営業損失の計上に伴い、160百万円と前年同四半期に比べ345百万円減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、181百万円と前年同四半期と比べ306百万円の減益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①ヴィレッジヴァンガード

ヴィレッジヴァンガードは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、食品、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」から「コト」も含め取扱分野を広げた「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は6,701百万円と前年同四半期と比べ1,377百万円の減収(17.0%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上総利益は2,377百万円と前年同四半期と比べ653百万円減益(21.6%減)となりました。販売費及び一般管理費の削減に継続的に取り組んでおりますが、営業損失は165百万円と前年同四半期と比べ350百万円の減益となりました。

店舗数につきましては、直営店3店を新規出店し、直営店3店を閉鎖したことにより、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店336店、FC店5店の合計341店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品など、面白味のある商品を多く取り扱っております。

また、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖いたしております。今後、順次、会社清算へ向けた手続きを進めております。

子会社(株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社2社)の当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は205百万円と前年同四半期と比べ5百万円の減収(2.5%減)となりました。営業利益は7百万円(前年同四半期は3百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、22,051百万円となりました。これは、商品が1,049百万円減少したものの、現金及び預金が2,725百万円、売掛金が287百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、3,651百万円となりました。これは、建物附属設備が21百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%増加し、25,702百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.2%増加し、9,805百万円となりました。これは、買掛金が893百万円、短期借入金が598百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、8,293百万円となりました。これは、長期借入金が455百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.7%増加し、18,098百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて297百万円減少し、7,603百万円となりました。これは、利益剰余金が301百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて2,725百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には6,122百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,983百万円(前年同四半期は997百万円の支出)となりました。これは、たな卸資産の減少額1,049百万円、仕入債務の増加額893百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63百万円(前年同四半期は67百万円の支出)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出6百万円、無形固定資産の取得による支出41百万円、差入保証金の差入による支出9百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は806百万円(前年同四半期は455百万円の支出)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が994百万円あったものの、短期借入金の増加598百万円および長期借入れによる収入1,380百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月13日の「2021年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,396	6,122
受取手形及び売掛金	1,004	1,292
商品	15,326	14,277
その他	1,040	363
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	20,764	22,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,419	1,448
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	172	164
建設仮勘定	26	16
有形固定資産合計	1,617	1,628
無形固定資産		
ソフトウェア	403	413
その他	1	1
無形固定資産合計	404	415
投資その他の資産		
長期前払費用	101	101
差入保証金	1,508	1,503
破産更生債権等	5	5
その他	2	2
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	1,611	1,607
固定資産合計	3,634	3,651
資産合計	24,398	25,702

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461	2,355
短期借入金	2,242	2,840
1年内償還予定の社債	45	30
1年内返済予定の長期借入金	3,461	3,391
未払金	329	325
未払法人税等	66	12
未払消費税等	361	225
株主優待引当金	39	27
賞与引当金	63	30
資産除去債務	—	13
その他	589	552
流動負債合計	8,660	9,805
固定負債		
社債	210	210
長期借入金	5,567	6,023
長期未払金	207	221
役員退職慰労引当金	367	372
退職給付に係る負債	211	199
資産除去債務	1,205	1,197
その他	66	69
固定負債合計	7,836	8,293
負債合計	16,496	18,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,330	2,330
資本剰余金	3,807	3,807
利益剰余金	1,737	1,435
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,875	7,574
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7	11
その他の包括利益累計額合計	7	11
新株予約権	19	18
純資産合計	7,901	7,603
負債純資産合計	24,398	25,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	8,232	6,843
売上原価	5,130	4,371
売上総利益	3,101	2,472
販売費及び一般管理費	2,919	2,627
営業利益又は営業損失(△)	182	△154
営業外収益		
仕入割引	7	—
業務受託料	20	13
その他	5	29
営業外収益合計	34	42
営業外費用		
営業外支払手数料	2	2
支払利息	27	33
その他	1	12
営業外費用合計	32	48
経常利益又は経常損失(△)	185	△160
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
助成金収入	—	9
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産除却損	0	10
減損損失	15	—
その他	4	—
特別損失合計	20	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165	△161
法人税等	40	20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	124	△181
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	124	△181

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	124	△181
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	4
その他の包括利益合計	3	4
四半期包括利益	128	△177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128	△177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165	△161
減価償却費	86	80
減損損失	15	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△12
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	27	33
営業外支払手数料	2	2
売上債権の増減額(△は増加)	△1,253	△295
たな卸資産の増減額(△は増加)	△242	1,049
仕入債務の増減額(△は減少)	388	893
その他	15	481
小計	△800	2,071
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△28	△37
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△168	△51
営業活動によるキャッシュ・フロー	△997	1,983
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19	△6
無形固定資産の取得による支出	△28	△41
差入保証金の差入による支出	△14	△9
差入保証金の回収による収入	12	11
その他	△16	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	499	598
長期借入れによる収入	280	1,380
長期借入金の返済による支出	△921	△994
割賦債務の返済による支出	△66	△40
配当金の支払額	△229	△120
その他	△17	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	806
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,520	2,725
現金及び現金同等物の期首残高	4,612	3,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,091	6,122

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積りに関する新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度続くとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヴィレッジヴァン ガード				
売上高					
外部顧客への売上高	8,030	201	8,232	—	8,232
セグメント間の内部売上 高又は振替高	48	8	57	△57	—
計	8,079	210	8,289	△57	8,232
セグメント利益又は損失 (△)	185	△3	181	0	182

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ヴィレッジヴァンガード」セグメントにおいて、店舗の閉鎖などが決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産についての減損損失を特別損失計上しております。なお、当該減損損失計上額は15百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヴィレッジヴァン ガード				
売上高					
外部顧客への売上高	6,640	203	6,843		6,843
セグメント間の内部売上 高又は振替高	61	1	63	△63	—
計	6,701	205	6,906	△63	6,843
セグメント利益又は損失 (△)	△165	7	△157	2	△154

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。